



連結会計専用ソフトとの違い、優位性をシステムデモで紹介

本セミナーで紹介する連結会計システムは、SAP S/4HANA for Group Reporting (略称 GR) です。SAPの連結ソリューションと言えば長い歴史がありますが、GRがSAPからリリースする最新の連結ソリューションとなります。

しかしながら、GRでどこまで実現できるかの認識が不十分で、連結会計専用ソフトとの違いや優位性も不透明な状況にあることと存じます。そこで、GRが提供する特長や機能をシステムデモを交えて紹介するセミナーを開催することと致しました。ご関心のある企業からのご参加を心よりお待ちしております。

本番稼働事例も
ご紹介



主催 クラウド&パッケージ株式会社
共催 株式会社T4C
後援 SAPジャパン株式会社

こんな願望

ありませんか？



- **グループで統一する業務プロセスとシステム**
- **グループ会社からのデータ収集方法の改善**
- **管理連結をもっと細かく行いたい**
- **別出し管理の連結会計システムの一体運用**

セミナーでお伝えしたいこと

- **連結会計と単体会計の一体運用ができること**
- **SAP S/4HANA for Group Reportingの特徴と優位性**
- **異なる通貨のサブ連結と全社連結を共存できること**
- **連結会計から単体会計のデータに遡及できること**



セミナーの実施要領

新たなグループ経営管理システムの基盤
株式会社T4C

SAP S/4HANA for Group Reportingに関する
本番稼働事例、特長、優位性の紹介
クラウド&パッケージ株式会社

SAP S/4HANA for Group Reportingデモンストレーション
SAPジャパン株式会社

参加費用：**無料**

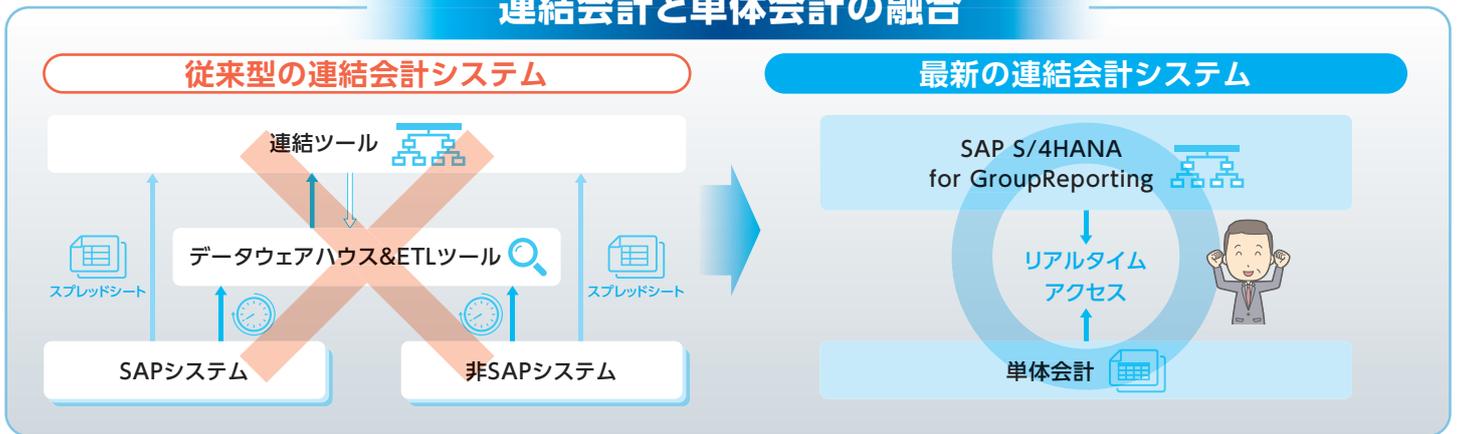
開催日時などはホームページで



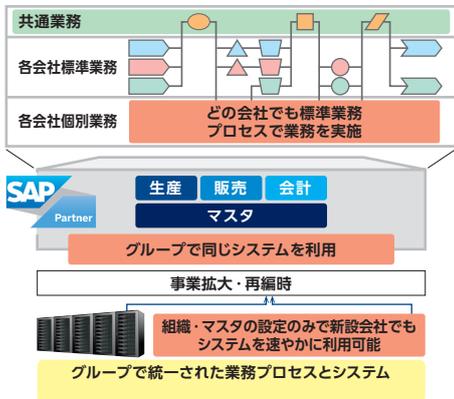
連結会計システムのプロセスフロー



連結会計と単体会計の融合



グループで統一する
業務プロセスと
システム



グループ全体の
会計情報の
一元管理

SAP S / 4HANA 総勘定元帳(グループ統合会計明細)

総勘定元帳明細に事前に定義されている300以上の項目が利用可能

会社	元帳	勘定科目	事業	部門	製品	取引相手	地域
受注番号	数量	勘定科目	資産番号	プロジェクト	発注番号

国内外における複数法人管理
【多言語、多通貨、IFRS (複数基準帳簿) 対応】

法人をまたぐ事業横串での損益管理
(セグメント管理)

グループ標準勘定科目による業務オペレーション

目指すべきは、連結ベースの 制度会計 と 管理会計 の一元管理

